

# 19m05教育方法論m 解答例

# 0小テスト

## 19m 教育方法論

第 1 回

小テスト 01-04

(I) 教育目標の特質（種類）として3つの区分を挙げよ。

- ・ 到達目標
- ・ 方向目標
- ・ 体験目標

(II) 次の空欄を埋めよ。

「 広岡亮蔵 」の学力モデルは、態度を中心として、「 関係的な理解 」と技術、「 要素的な知識 」と技能の「 三層 」説  
「 勝田守一 」の学力モデルは、「 認識の能力 」を重視した「 計測可能 」学力説  
「 中内敏夫 」の学力モデルは、広義の「 知識 」が学習者によってこなされた状態を「 習熟 」と呼ぶ段階説

(III) 「授業研究」には、どんな課題が凝縮されて取り組まれてゆくべきか。3つ述べよ。

学力と集団と発達の保証  
教育と生活の結合  
教育と科学の結合

(IV) 「学制の教育理念」について簡潔に述べよ。

「学問は身を立てるの財本」であるとする立身出世的な教育観、

全ての国民に平等に教育の機会を与えるという教育における四民平等、

日常生活に必要な基礎学力の修得から始めて近代科学を中心とした学問を起こすという実利主義的な学問観

\*\* 今日の小テストを自己評価し、気づいたこと、感じたことをのべよ

■ 5段階自己評価 ( )

■

# 1教材づくりの発想

教育方法論 第5回 テーマ「教材づくりの発想」

## (1)「新しい時代の教育方法」より

今までの教材には「教材＝教科書」という概念があり、様々な問題が起こっていた。しかし、教師が学習者の実態を研究したうえで新しい教材を開発することは、重要な発想となる。これらが国語や理科などの興味を引くことができる。

ポイント)

- ・上からの道は「教科内容の教材化」であり、下からの道は「素材の教材化」という意味であり「具体性」を優先
- ・1つ目は子どもたちの興味を引く、2つ目は子どもや地域との整合性、3つ目は教科や領域の論理化・体系化することである
- ・児童・生徒や地域の実態を踏まえ、自主教材の作成が今までの教材に飽き足らない教師の存在証明

## (2)「17 中学校学習指導要領解説」「18 高等学校学習指導要領解説」等から

ICTを用いた教材が主流となろうとしている中、やはり情報機器を扱える教師や生徒がいるため、新聞などのメディアを用いて研究すべきとしている。また、生徒の実態を把握し、予復習の見通しを立てれるようにしなければならない。

ポイント)

- ・ネットワークを用いて、視覚教材や教育機器の適切な活用が可能となる
- ・生徒が学習の復習や見通しを立てたりすることができる学習活動を工夫することが重要
- ・統計資料を用いて教師は機器操作以外にも教材・器具の研究をするべきである

## (3) ネット資料から(長所・短所等)

理科の実験では、教科書だけでなく教員の教材開発も重要になる。しかし、教員が考えた教材だけでは生徒が本当に考えたうえで理解できるのかを調べることができないため、生徒にも考えてもらえるような教材研究をしていかなければならない。

ポイント)

- ・実際の生徒の意見や発想を元にして課題づくりをして観察や実験をする
- ・生徒に考えてもらうことも、教材の一つになるため誘導できるようにすべき

## (4) 自分の意見

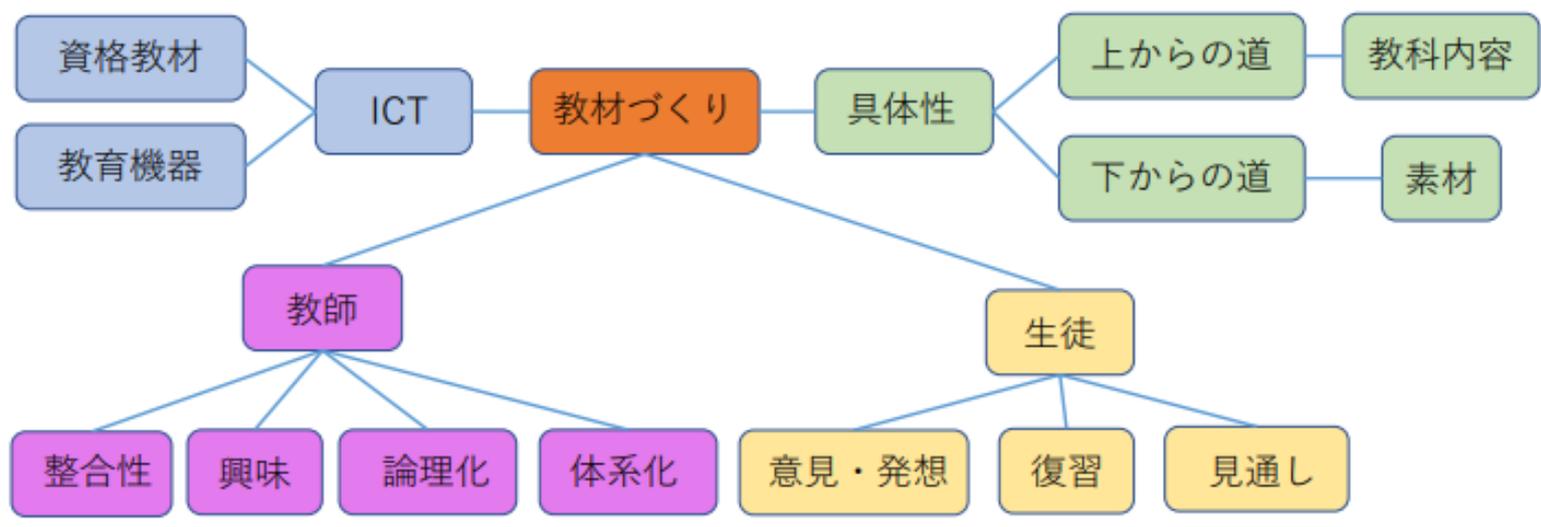
教員は、生徒の実態を把握して教材を作らなければならないが、教員が思っているような授業展開と生徒との思っていることは違う。なので、生徒にも考えさせる教材を作っていかなければならない。

ポイント)

- ・興味を引くことができる教材を作ることから始まる
- ・ICTやメディアを活用して、どのような内容が良いのかを研究する
- ・生徒の意見や発想を踏まえなければ教科書を使っているのと結果になる

## (5) 出典(参考文献、URL等)

- ・「新しい時代の教育方法」pp.202～pp.207
- ・「17 中学校学習指導要領解説」pp.84～pp.86
- ・「18 高等学校学習指導要領解説」pp.124～pp.126
- ・子どもの発想から楽しい授業づくり - 教育つれづれ日誌 | 学びの場.com



# 2メディアとしての教材

教育方法論 m 第 回

テーマ 「メディアとして」の教材 班 番号

(1) 「新しい時代の教育方法」から

全体の要点●

教科書というメディアをどのように活用するか、

- ポイント 1) 教科書中の理解型学習は受動的で退屈になりがちなので教科書などをただ読む様な学習の体験を避ける必要がある。
- 2) 学習の体験の方法の一つはメディア・リテラシーの素材として教科書を活用する方法がある。
- 3) 比べ読みはメディア・リテラシーとしてテキストの批評を促すための手段として有効である。
- 4) メディア教育はステレオタイプに反対する見方を考へるなど批判的思考を促したりするという点がある。

(2) 「17 中学校学習指導要領解説」「18 高等学校学習指導要領解説」等から

全体の要点●

- ポイント 1)
- 2)
- 3)
- 4)

(3) その他のネット資料から長所・短所

全体の要点●

- ポイント 1) メディア教育における3つの視点、1)はメディアの本質を理解する、メディアの利用を実践する、メディアの情報に吟味する。
- 2)
- 3) メディアの本質を理解するには、メディア論、デジタル環境論、学習環境論は必要である。
- 4)

(4) 自分の意見

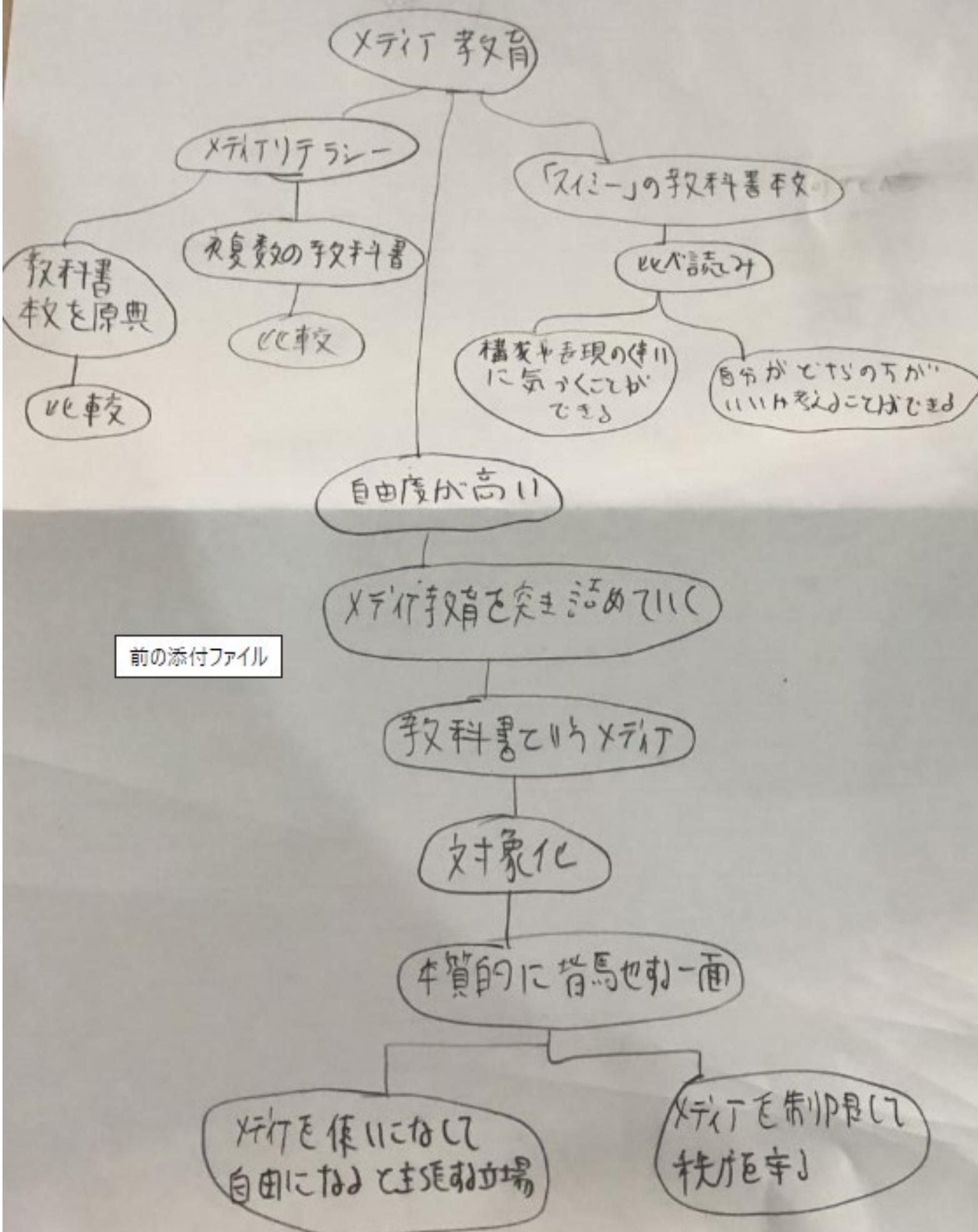
全体の要点●

- 1) メディアの利用には、メディアの利用法、メディア教育の方法、メディア教育の教材開発
- 2) メディアの情報には、メディアの情報論、メディアリテラシー、情報社会への参画

- ポイント 1)
- 2)
- 3)
- 4)

教科書と比較するためにしつこくならな準備が変化したと感じた。  
 そのかわりにたいへん授業がもしろく、興味があせやく授業の内容が  
 こいものになる感じた。

5) 出典(文献名、url 等)



前の添付ファイル

# 3教材概念の拡張・電子黒板

教育方法論 m 第 四 回

テーマ 教材概念の拡張  
電子黒板

番号  
B18014

(1) 「新しい時代の教育方法」から

全体の要点● 子どもたちの協同的・対話的・対学的な学び合いも志向する

ポイント1) 重要なのは子どもたちの発言・文章

2) 話し合いや討論が原則していく

3) ICTの保存機能で画面をいつでも取り出せる。子どもの関心や理解を高める

4) 一斉学習からグループ学習へという学習形態の転換

X (2) 「17 中学校学習指導要領解説」「18 高等学校学習指導要領解説」等から

全体の要点●

ポイント1)

2)

3)

4)

(3) その他のネット資料から長所・短所

全体の要点●

メリット・デメリット

ポイント1) 電子黒板や黒板を使う授業のスピードやテンポは抑えられている

2) 電子黒板だと扱える情報量はほぼ過多になる

3) 資料・作品と扱ってやりこ → 理解しづらく、事例と理解しにくい

4) 意見交換のためのメディアとして活用できる

(4) 自分の意見

全体の要点● 電子黒板と黒板の併用が一番よい

ポイント1) 電子黒板だけ、黒板だけどちらかに偏ると効果がデメリットが増える

2) 子どもたち主体の授業を目指すべき

3)

4) ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

(5) 出典(文献名、url等)

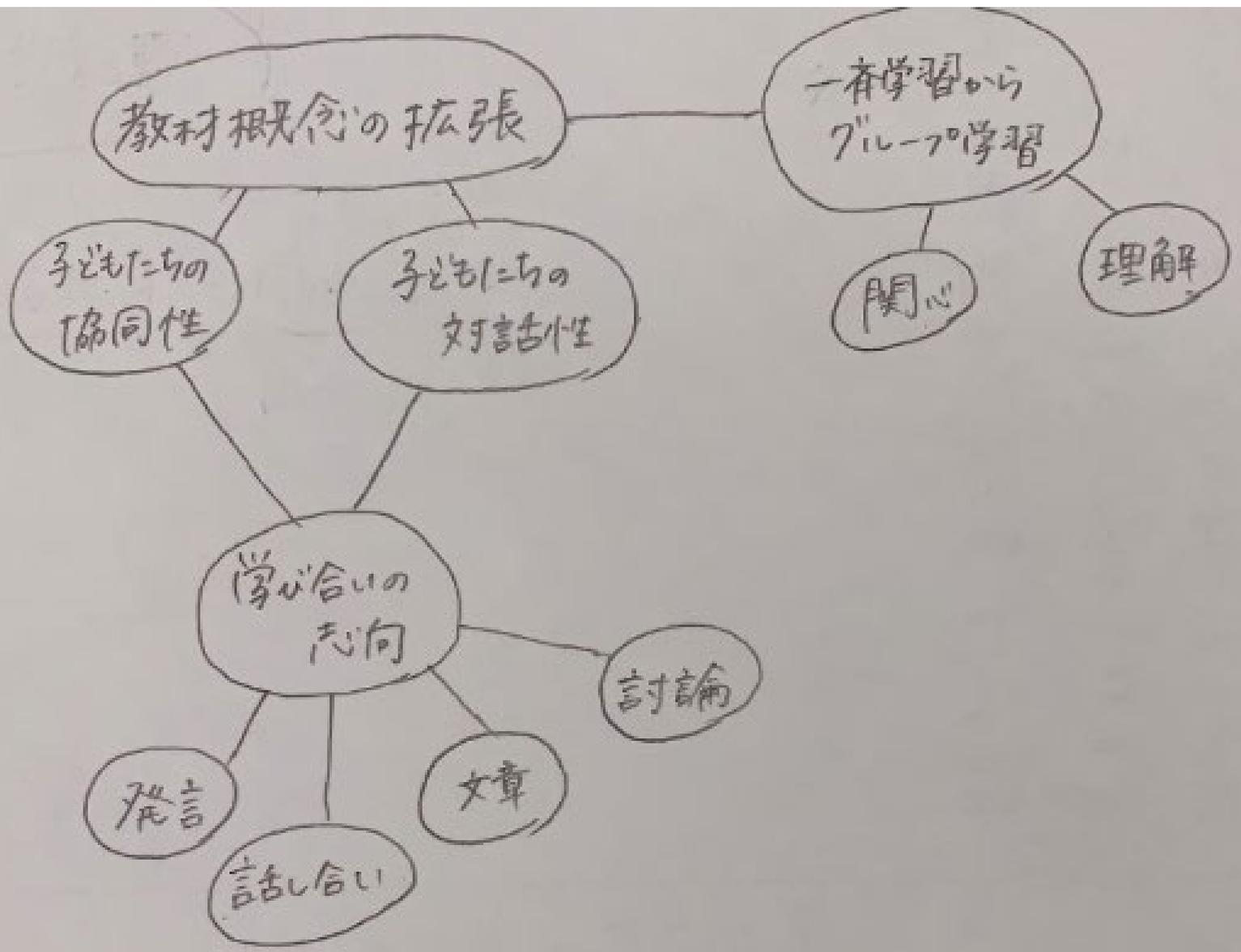
(1) 文部科学省(2017)。「中学校学習指導要領解説」, pp.1-6.

(2) 文部科学省(2018)。「高等学校学習指導要領解説」, pp.1-6.

(3) 岸本 稔・毛利 猛 「電子黒板と使いこみ授業における発問の在り方に関する

(2012)

考察



# 4ICT活用例

## ICT 活用例

### 1. 単 元

数学

### 2. テーマ

比例と反比例

### 3. ICT 活用のねらい

- ・二つの数量の関係を関数的に見て、日常的な事象と関連付けて考察する。
- ・発展問題を通して生徒が関心・意欲をもって学習を進められるように工夫する。
- ・二つの数量の関係を生徒に見つけさせ、式化して考察できるようにする。

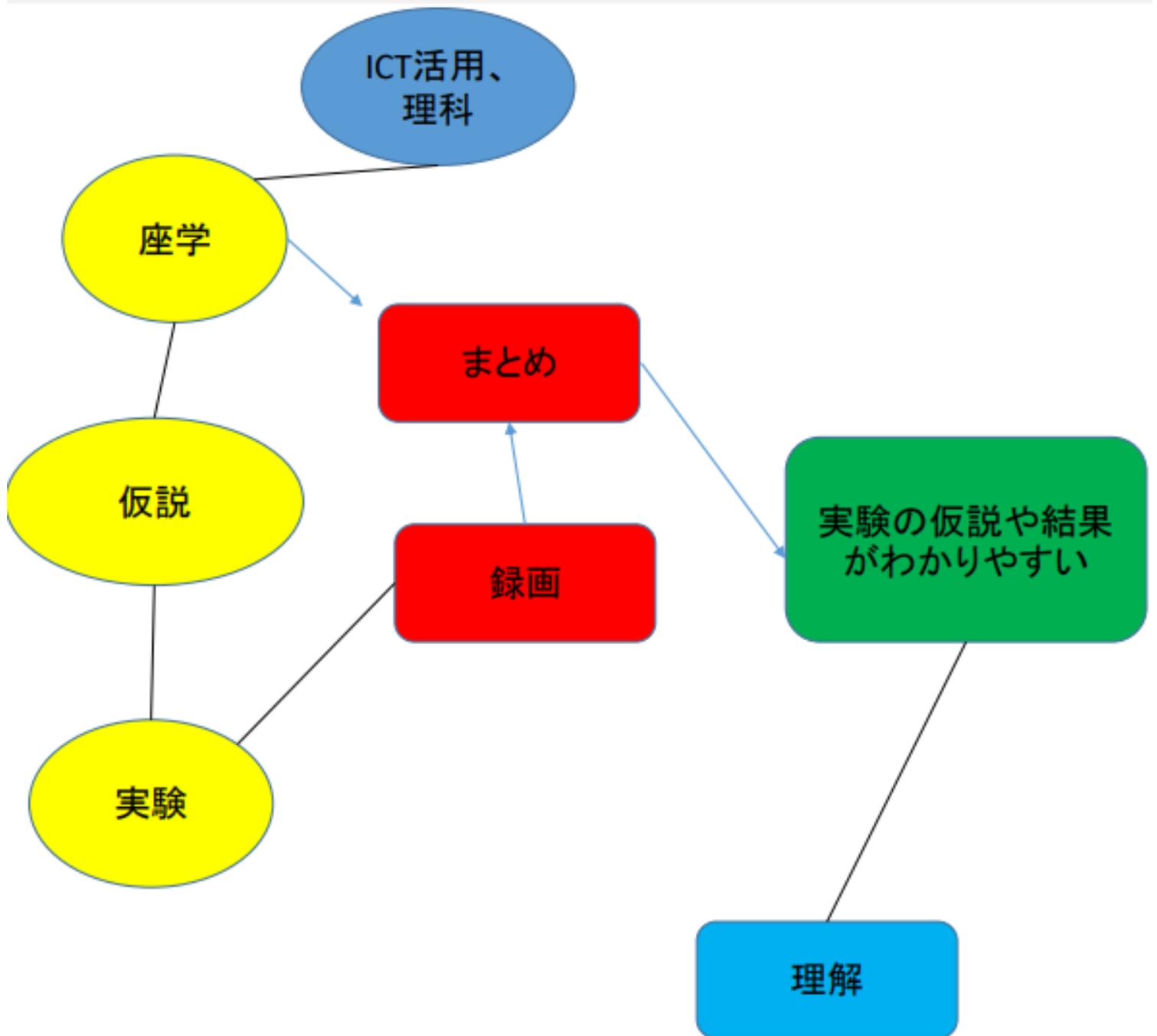
### 4. ICT 活用例

学習内容	指導過程・学習活動	指導上の留意点
ICT 活用の場面 (ガソリンの量)	ICT 活用の手順 ○日常事象を取り扱う場面を設定する。 ・ここでは、ガソリンの量と料金についてどのように変化していくかをビデオで見せるなどして学習素材を提示する。 ○発展問題と ICT 活用による理解の向上を図る。 ・これまで学んだ比例と反比例の知識や見方。考え方を基にして、様々な事象を考察することで、理解を深めて比例と反比例の有用性を考えさせる。 ・正方形の段数が増えるに伴って変わる量を課題として扱う。これを、ICT で活用して視覚的に捉えることで理解できるようにする。 ○コースの違い ・基礎コースと発展コースに分けて、生徒それぞれが得意、不得意にあったコースを選択する。  イメージ図など 	○日常生活の身近な事象を取り上げて、分かりやすく説明する。  ○日常事象の例を挙げて、それについて比例と反比例の関係を理解させて、ICT とどのように関わるのかを説明する。  ○数学が苦手な生徒のことも十分考慮した上で、コースを選択させる。
備考	使用教科書 なし 準備物 パソコン、筆記具、紙 授業形態と工夫 パソコンを使用しての授業。様々な日常事象を例に挙げて分かりやすく説明する。	

### 5. 出典・参考等

・ [http://www.center.spec.ed.jp/d/h21/332/suugaku/jirei2\\_.pdf](http://www.center.spec.ed.jp/d/h21/332/suugaku/jirei2_.pdf)

# ICT活用例



# 5 確認問題04

## 教育方法論 m

第 4 回

### 確認問題 04

(1) 教育目標の特質（種類）として3つの区分を挙げよ。

到達目標 向目標  
体験目標

(2) 次の空欄を埋めよ。

ラテン語などの（古語）やユークリッド幾何などの（数学）を学習することを通じて、記憶や推理、想像といった一般的な（形式的）能力を高めようとする立場を（知識的）説という。これに対し、継承すべき文化の中から教材を選択し、それぞれの領域ごとに知識や（技能）を獲得させようとする立場を（実質的）説という。領域内の豊かな知識が形成されることをベースにして一般的な（合理的）能力が育つと考えられており、（心身）との協同過程を組み込んだ（程序）学習を進めることを通じて、その領域の（概念的）的な理解を深めさせることを重視するのが最近の特徴である。

(3) 向山が規定した「教育技術」について簡潔に述べよ。

子どもにだけの手間で教える側は  
知識技能を身につけたいと  
よび習練により身につけて  
教える側の立場

(4) 「授業を構成する要素」「現代化のパラダイム」「ブルームの分類体系（タクソノミー）」のうち1つについて簡潔に説明せよ。

子どもに実現されるべき教育目標・内容、そのために用いる教材・教具、子どもへの働きかけを行う授業過程・学習形態、子どもの達成状況についての教育評価の4つの要素・視点。4章1節1項

授業の実際が、現代科学の成果を取り入れ、教科内容を構成し、それを教材化して、その指導をより適切に行いうる授業形態・方法を選択するという一方向的な流れにより規定されるという考え方。3章4節1項

教育目標における認知領域、情意領域、精神運動領域の3つに区分し、それぞれの領域の目標を達成が容易な内容から難しい内容へと回想的に配列したもの。4章2節3項

\*\*）確認問題 02 を自己評価し、  
気づいたこと、感じたことをのべよ  
■ 5段階自己評価（ ）  
■

ブルームの分類体系では  
分けることが出来  
教育技術は教える人の立場

## 問題2

